

定期検査中の福島第一原子力発電所 4 号機圧力抑制室内における
グレーチング片の発見・回収について

<概要>

(事象の発生状況)

- ・平成 20 年 4 月 11 日、定期検査中の 4 号機圧力抑制室において、グレーチング片を発見・回収しました。

(安全性、外部への影響)

- ・機器への影響はなく、安全性に問題はありません。
- ・本事象による外部への放射能の影響はありません。

(今後の対応)

- ・グレーチングを新品に取り替えます。
- ・今後巡視点検を行い、落下しやすいグレーチングの有無について確認を行います。
- ・引き続き、清掃作業を実施するとともに異物混入防止対策を徹底してまいります。

(公表区分)

- ・本事象は公表区分その他(透明性を確保する観点)としてお知らせするものです。詳細は以下のとおりです。

1. 事象の発生状況

当所 4 号機（沸騰水型、定格出力 78 万 4 千キロワット）につきましては、平成 20 年 3 月 28 日より第 22 回定期検査を実施しておりますが、圧力抑制室内のプール内の清掃作業を実施していた協力企業作業員が、4 月 11 日午後 3 時 15 分頃、プール内にグレーチング片（格子状の金属板、長さ約 50 cm×幅約 7 cm×高さ約 2 cm、重量約 1 kg）を発見したことから、午後 3 時 45 分頃、回収しました。

現場を確認した結果、発見箇所の上部の圧力抑制室内にある歩行用の床（グレーチング）の一部に隙間があり、発見されたグレーチング片の寸法とほぼ一致することがわかりました。

前回定期検査の圧力抑制室内の水中カメラによる確認時（平成 19 年 3 月）に当該グレーチング片は発見されていないことから、これ以降に落下したものと推定しております。

2. 今後の対応

- ・当該歩行用の床のグレーチングについては、隙間のない一体型のグレーチングに取り替えを行います。
- ・今後、巡視点検を行い、落下しやすいグレーチングの有無について確認を行ってまいります。
- ・引き続き、清掃作業を実施するとともに異物混入防止対策を徹底してまいります。

3. 安全性、外部への影響

落下した当該グレーチング片のあった床の直下には機器等はないため、機器への影響はなく、安全性に問題はありません。

本事象による外部への放射能の影響はありません。

以 上